

iOS 版 VMware View Client の使用

2012 年 12 月

iOS 版 View Client

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-000666-05

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2011, 2012 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴァイムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

1	iOS 版 VMware View Client の使用	5
	セットアップとインストール	6
	iOS 版 View Client のシステム要件	6
	View Client 向けの View 接続サーバの準備	7
	組み込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用	7
	サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム	8
	iOS 版 View Client のインストール/アップグレード	9
	VMware が収集する View Client のデータ	9
	URI を使用して View Client を設定	10
	vmware-view URI を作成するための構文	11
	vmware-view URI の例	12
	サーバ接続とデスクトップの管理	13
	初回の View デスクトップへのログイン	14
	View Client の証明書チェック モード	15
	サーバの保存リストの管理	16
	View デスクトップからの切断	17
	デスクトップからのログオフ	17
	デスクトップのロールバック	18
	最近利用したデスクトップからのショートカットの削除	19
	モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用	19
	機能サポート一覧	20
	外部キーボードおよび入力デバイス	20
	動作およびナビゲーションのヘルプ	21
	マルチタスク	23
	マウスボタンの反転機能を利用する View Client の設定	24
	画面解像度と外部ディスプレイの使用	24
	PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシュ	25
	国際化	25
	View Client のトラブルシューティング	25
	デスクトップのリセット	26
	VMware View アプリケーションのアンインストール	26
	プロキシ使用時の接続構築に関する問題	27
	インデックス	29

iOS 版 VMware View Client の使用

このガイド『iOS 版 VMware View Client の使用』では、データセンター内の View デスクトップに接続するために、iOS デバイスに VMware View™ ソフトウェアをインストールする方法および使用する方法について説明します。

このドキュメントには、View Client のインストールのためのシステム要件と手順が記載されています。このドキュメントでは、iPad などの iOS デバイスでのユーザー エクスペリエンスを向上させるヒント、および Windows デスクトップの構成要素の使用に関するヒントについても説明します。

これらの情報は、iOS クライアント デバイスを含む VMware View を設定する必要がある管理者を対象としています。これらの情報は、仮想マシン テクノロジーおよびデータ センターの運用に精通している経験豊富なシステム管理者向けに記述されています。

■ セットアップとインストール (P. 6)

iOS クライアント用 View 配置を設定するには、特定の View 接続サーバ 構成の設定を使用し、View Server および iOS クライアントのシステム要件を満たすようにして、Apple App Store から VMware View アプリケーションをインストールします。VMware は、View セキュリティ サーバを設定し、iOS クライアントが VPN 接続を必要としないようにすることを推奨します。

■ URI を使用して View Client を設定 (P. 10)

uniform resource identifiers (URI) を使用して、View Client を起動するためにエンド ユーザーがクリックするリンク付きの Web ページまたは電子メールを作成し、View 接続サーバに接続し、特定の設定オプションで固有のデスクトップを起動できます。

■ サーバ接続とデスクトップの管理 (P. 13)

View Client を使用して View 接続サーバまたはセキュリティ サーバに接続し、接続サーバのリストを編集し、View デスクトップにログインするか View デスクトップからログオフします。トラブルシューティングする場合にも、割り当てられている View デスクトップをリセットし、チェックアウトしたデスクトップをロールバックできます。

■ モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用 (P. 19)

モバイル デバイスでは、ナビゲーションを援助するための機能が View Client に追加されています。

■ View Client のトラブルシューティング (P. 25)

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View アプリケーションの再インストールで解決することができます。

セットアップとインストール

iOS クライアント用 View 配置を設定するには、特定の View 接続サーバ構成の設定を使用し、View Server および iOS クライアントのシステム要件を満たすようにして、Apple App Store から VMware View アプリケーションをインストールします。VMware は、View セキュリティ サーバを設定し、iOS クライアントが VPN 接続を必要としないようにすることを推奨します。

- [iOS 版 View Client のシステム要件](#) (P. 6)
iOS 版 View Client を iPad および iPhone のすべてのモデルにインストールできます。
- [View Client 向けの View 接続サーバの準備](#) (P. 7)
エンドユーザーが View デスクトップに接続できるようにするには、特定のタスクを管理者が実行する必要があります。
- [組み込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用](#) (P. 7)
RSA SecurID ソフトウェアのトークンを作成し、エンドユーザーに配布した場合、PIN とトークン コードではなく、PIN のみを入力すれば認証されます。
- [サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム](#) (P. 8)
管理者は、ゲスト オペレーティング システムを使用して仮想マシンを作成し、そのゲスト オペレーティング システムに View Agent をインストールします。エンドユーザーは、クライアント デバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。
- [iOS 版 View Client のインストール/アップグレード](#) (P. 9)
他の iOS アプリケーションと同じように View Client を App Store からインストールします。
- [VMware が収集する View Client のデータ](#) (P. 9)
所属する企業がカスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加している場合、VMware は View Client の特定フィールドのデータを収集します。機密情報が含まれるフィールドは、匿名扱いとなります。

iOS 版 View Client のシステム要件

iOS 版 View Client を iPad および iPhone のすべてのモデルにインストールできます。

View Client をインストールする iOS デバイスとその周辺機器は、一定のシステム要件を満たしている必要があります。

- | | |
|----------------------------|---|
| iPad および iPhone モデル | <ul style="list-style-type: none"> ■ iOS 版 View Client 1.7:iPhone 4、4S、および 5、ならびに iPad、iPad 2、iPad (第 3 世代)、iPad (第 4 世代)、および iPad mini ■ iOS 版 View Client 1.6:iPhone 4 および 4S、ならびに iPad、iPad 2、および iPad (第 3 世代) ■ iPad 版 View Client 1.5:iPad、iPad 2、および iPad (第 3 世代) ■ iPad 版 View Client 1.2、1.3 および 1.4:iPad および iPad 2 ■ iPad 版 View Client 1.0 および 1.1:iPad |
| オペレーティング システム | <ul style="list-style-type: none"> ■ iOS 版 View Client 1.7:iOS 4.2 またはそれ以降 (iOS 6.x を含む) ■ iOS 版 View Client 1.6:iOS 4.2 ~ 5.x ■ iPad 版 View Client 1.5:iOS 4.2 ~ 5.x ■ iPad 版 View Client 1.2、1.3 および 1.4:iOS 4.2 ■ iPad 版 View Client 1.0 および 1.1:iOS 4.2 |
| 外部キーボード | (オプション) iPad Keyboard Dock および Apple Wireless Keyboard (Bluetooth 搭載) |

View 接続サーバ、セキュリティサーバ、および View Agent	4.6.1 以降 VMware は、セキュリティサーバを使用し、iOS クライアントが VPN 接続を必要としないようにすることを推奨します。
VMware View の表示プロトコル	PCoIP

View Client 向けの View 接続サーバの準備

エンドユーザーが View デスクトップに接続できるようにするには、特定のタスクを管理者が実行する必要があります。

エンドユーザーが View 接続サーバまたはセキュリティサーバに接続して、View デスクトップにアクセスできるようにするには、プールの設定およびセキュリティの設定を構成する必要があります。

- セキュリティサーバを使用している場合、VMware では、View 接続サーバ 4.6.1 以降および View セキュリティサーバ 4.6.1 以降の使用を推奨しています。View 4.6 以降の『VMware View インストールガイド』を参照してください。

- クライアントデバイスに安全なトンネル接続を使用する予定で、その安全な接続が View 接続サーバまたはセキュリティサーバの DNS ホスト名を使用して構成される場合には、この DNS 名がクライアントデバイスによって解決できることを確認します。

安全なトンネルを有効または無効にするには、View 管理者で [View 接続サーバ設定の編集] ダイアログボックスに移動して、[デスクトップへの安全なトンネル接続を使用する] チェックボックスを使用します。

- 仮想デスクトッププールが作成済みであること、および使用予定のユーザーアカウントにこの View デスクトップへのアクセス権が付与されていることを確認します。デスクトッププールの作成については、『VMware View 管理ガイド』を参照してください。
- View Client で、RSA SecurID または RADIUS 認証などの 2 要素認証を使用するには、View 接続サーバでこの機能を有効にする必要があります。RADIUS 認証は、View 5.1 以降の View 接続サーバで使用できます。詳細については、『VMware View 管理者ガイド』で 2 要素認証に関するトピックを参照してください。
- エンドユーザーが View Client でパスワードを保存できるようにするには、View 接続サーバでこの機能のポリシーを設定します。これによりユーザーは View デスクトップにログインするたびに認証情報を入力する必要はなくなります。

この機能は、View 5.1 以降の View 接続サーバ経由で View デスクトップに接続している 1.5 以降の View Client で使用できます。ユーザーがパスワードを保存できるのは、保存を許可するポリシーが設定されており、View 接続サーバが提示するサーバ認証を View Client が完全に検証できる場合です。このポリシーの設定に関する手順については、『VMware View 管理者ガイド』の「ユーザー認証の設定」という章の「認証の保存をユーザーに許可する」というトピックを参照してください。

- デスクトッププールが PCoIP 表示プロトコルを使用するように設定されていることを確認します。『VMware View 管理ガイド』を参照してください。

組込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用

RSA SecurID ソフトウェアのトークンを作成し、エンドユーザーに配布した場合、PIN とトークンコードではなく、PIN のみを入力すれば認証されます。

セットアップ要件

注意 この機能は、View Client 1.2 以降を使用している場合に限り使用できます。

CTF (Compressed Token Format) またはダイナミック シード プロビジョニング (CT-KIP (Cryptographic Token Key Initialization Protocol) と呼ばれる) を使用して、使いやすい RSA 認証システムをセットアップできます。このシステムを使用すれば、エンド ユーザーに送信する URL を生成できます。トークンをインストールするには、エンド ユーザーはこの URL をクライアント デバイスの View Client に直接ペーストします。エンド ユーザーが View 接続サーバに View Client で接続すると、この URL をペーストするダイアログ ボックスが表示されます。

ソフトウェアトークンがインストールされた後、エンド ユーザーは PIN を入力して認証を行います。外部 RSA トークンの場合は、エンド ユーザーは PIN とハードウェアまたはソフトウェア認証トークンによって生成されたトークン コードを入力する必要があります。

RSA が有効な View 接続サーバに View Client が接続しているときに、エンド ユーザーが View Client に URL をコピーおよびペーストする場合、次の URL プレフィックスがサポートされます。

- `viewclient-securid://`
- `com.rsa.securid.iphone://`
- `com.rsa.securid://`

URL をタップしてトークンをインストールしているエンド ユーザーについては、プレフィックス `viewclient-securid://` のみがサポートされます。

ダイナミック シード プロビジョニングまたはファイルベース (CTF) のプロビジョニングの詳細については、<http://www.rsa.com/node.aspx?id=3652> で Web ページ「iPhone デバイス用 RSA SecurID ソフトウェア トークン」または <http://www.rsa.com/node.aspx?id=3832> で「Android 用 RSA SecurID ソフトウェア トークン」を参照してください。

エンド ユーザーへの指示

エンド ユーザーに送る CTFString URL または CT-KIP URL を作成する場合、パスワード、またはアクティベーション コード付、またはなしで URL を生成することができます。以下の情報を記載した電子メールで、エンド ユーザーにこの URL を送信してください。

- [ソフトウェアトークンのインストール] ダイアログ ボックスにナビゲートする手順。
View 接続サーバに接続の際、RSA SecurID 認証情報の入力を求める View Client ダイアログ ボックスの [外部トークン] をタップするよう、エンド ユーザーに指示します。
- プレーン テキストの CTFString URL または CT-KIP URL
URL にフォーマットをかけている場合、View Client で使用すると、エラー メッセージが表示されます。
- 作成した CT-KIP URL にアクティベーション コードが含まれていない場合は、アクティベーション コード。
エンド ユーザーは、ダイアログ ボックスのテキスト フィールドにこのアクティベーション コードを入力します。
- CT-KIP URL にアクティベーション コードが含まれている場合、[ソフトウェアトークンのインストール] ダイアログ ボックスの [パスワードとアクティベーション コード] テキスト ボックスには何も入力する必要がないことを伝えてください。

サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム

管理者は、ゲスト オペレーティング システムを使用して仮想マシンを作成し、そのゲスト オペレーティング システムに View Agent をインストールします。エンド ユーザーは、クライアント デバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。

サポートされているゲスト オペレーティング システムの一覧については、VMware View 4.6.x または 5.x のインストール ドキュメントの「View Agent でサポートされるオペレーティング システム」を参照してください。

iOS 版 View Client のインストール/アップグレード

他の iOS アプリケーションと同じように View Client を App Store からインストールします。

開始する前に

iOS デバイスをまだ設定していない場合は設定を行ってください。Apple からのユーザー ガイドを参照してください。

手順

- 1 iOS デバイス、Mac、または PC では、VMware View アプリケーションで App Store を参照または検索します。
- 2 アプリケーションをダウンロードします。
- 3 Mac または PC にアプリケーションをダウンロードした場合、iOS デバイスをコンピュータに接続し、iTunes の画面の指示に従います。
- 4 インストールが成功したかどうかを確認するには、デバイスのホーム画面のデスクトップに表示される [VMware View] アプリケーション アイコンを検証します。

VMware が収集する View Client のデータ

所属する企業がカスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加している場合、VMware は View Client の特定フィールドのデータを収集します。機密情報が含まれるフィールドは、匿名扱いとなります。

注意 この機能は、現在の View の配置が View Connection Server 5.1 以降を実装している場合に限り使用できます。View Client 1.7 以降のクライアントの場合、クライアント情報が送信されます。

VMware は、クライアント上で情報を収集し、ハードウェアとソフトウェアの互換性を優先度付けします。View 管理者がカスタマー エクスペリエンス向上プログラムへの参加を決めた場合、VMware はお客様のご要望に対する VMware の対応を改善する目的で、現在ご使用の配置に関する匿名データを収集します。企業が特定できるような情報は収集されません。View Client の情報はまず View Connection Server へ送られ、次いで、View サーバ、デスクトッププール、および View デスクトップの情報とともに VMware へ送られます。

情報は View Connection Server へ送信される途中で暗号化されますが、クライアントシステムの情報は暗号化なしで、ユーザー固有のディレクトリ内に記録されます。この記録には、個人情報は含まれません。

VMware カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加するには、View Connection Server をインストールする管理者が View Connection Server インストール ウィザードを実行しているときに選択するか、インストール後に View Administrator でオプションを設定します。

表 1-1. カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに関して View Client で収集されるデータ

説明	このフィールドは匿名 になりますか？	値の例
View Client アプリケーションのメーカー	いいえ	VMware
製品名	いいえ	VMware View Client
クライアント製品のバージョン	いいえ	この形式は <x.x.x-yyyyyy> です (<x.x.x> はクライアントのバージョン番号、<yyyyyy> はビルド番号)。
クライアントのバイナリアーキテクチャ	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ x86_64 ■ arm ■ i386

表 1-1. カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに関して View Client で収集されるデータ (続き)

説明	このフィールドは匿名になりますか？	値の例
クライアントのビルド名	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ VMware-view-client-Linux ■ VMware-view-client-iOS ■ VMware-view-client-Mac ■ VMware-view-client-Android
ホスト OS	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ iPhone OS 5.1.1 (9B206) ■ Ubuntu 10.04.4 LTS ■ Mac OS X 10.7.5 (11G63)
ホスト OS のカーネル	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Darwin Kernel バージョン 11.0.0:Sun Apr 8 21:52:26 PDT 2012;root:xnu-1878.11.10~1/RELEASE_ARM_S5L8945X ■ Darwin 11.4.2 ■ Linux 2.6.32-44-generic #98-Ubuntu SMP Mon Sep 24 17:27:10 UTC 2012
ホスト OS のアーキテクチャ	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ i386 ■ x86_64 ■ armv7l ■ ARM
ホスト システムのモデル	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ iPad3,3 ■ MacBookPro8,2 ■ Dell Inc. Precision WorkStation T3400 (A04 03/21/2008)
ホスト システムの CPU	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q6600 @ 2.40GH ■ unknown (iPad の場合)
ホスト システムのプロセッサのコア数	いいえ	例 : 4
ホスト システムのメモリ容量 (MB)	いいえ	例 : 4096

URI を使用して View Client を設定

uniform resource identifiers (URI) を使用して、View Client を起動するためにエンド ユーザーがクリックするリンク付きの Web ページまたは電子メールを作成し、View 接続サーバに接続し、特定の設定オプションで固有のデスクトップを起動できます。

View Client 1.6 以降では、エンド ユーザー用の Web または電子メールのリンクを作成することで、View デスクトップへのログイン プロセスを簡素化できます。部分的または以下のすべての情報を提供する URI を作成することでこれらのリンクを作成すれば、エンド ユーザーは入力する必要がありません:

- View 接続サーバのアドレス
- View 接続サーバのポート番号
- Active Directory ユーザー名
- Active Directory ユーザー名と異なる場合、RADIUS または RSA SecurID ユーザー名
- ドメイン名
- デスクトップ表示名

- リセット、ログオフ、およびロールバックを含むデスクトップアクション

URI を作成するには、View Client 固有のパスおよびクエリ部分と共に **vmware-view** URI スキーマを使用します。

注意 View Client が既にエンドユーザーのクライアントコンピュータにインストールされている場合に限って、URI を使用して View Client を起動できます。

vmware-view URI を作成するための構文

構文には、**vmware-view** URI スキーマ、デスクトップを指定するためのパス部分、そしてオプションでデスクトップのアクションまたは構成オプションを指定するためのクエリが含まれます。

VMware View URI の仕様

以下の構文を使用して View Client を起動するための URI を作成します:

```
vmware-view://[<authority-part>][/<path-part>][?<query-part>]
```

必要となる唯一の要素は URI スキーマ **vmware-view** です。一部のクライアント OS のバージョンによっては、スキーマ名は大文字と小文字の区別があります。したがって、**vmware-view** を使用してください。

重要 すべての部分で、非 ASCII 文字は UTF-8 [STD63] に基づいて最初にエンコードされる必要があります、次に対応する UTF-8 シーケンスの各オクテットは、URI 文字として表されるパーセントでエンコードする必要があります。

ASCII 文字のエンコードについての詳細は、http://www.w3schools.com/tags/ref_urlencode.asp の URL エンコーディング資料を参照してください。

<authority-part>

サーバアドレス、オプションでユーザー名、非デフォルトポート番号、またはその両方を指定します。サーバ名は、DNS 構文に一致する必要があります。

ユーザー名を指定するには、以下の構文を使用します:

```
user1@<server-address>
```

ドメインが含まれる UPN アドレスを指定できません。ドメインを指定するには、URI で **domainName** クエリ部分を使用できます。

ポート番号を指定するには、以下の構文を使用します:

```
<server-address>:<port-number>
```

<path-part>

デスクトップを指定します。デスクトップ表示名を使用します。表示名にスペースが含まれている場合、**%20** エンコーディング機能を使用してスペースを表します。

<query-part>

使用するための設定オプション、または実行するデスクトップアクションを指定します。クエリは大文字と小文字の区別がありません。複数のクエリを使用するには、クエリの間にアンパサンド (&) を使用します。クエリが違いに競合する場合、リストの最後のクエリが使用されます。次の構文を使用します:

```
<query1>=<value1>[&<query2>=<value2>...]
```

サポートされるクエリ

このトピックは、View Client のこのタイプでサポートされるクエリをリストします。デスクトップクライアントやモバイルクライアントなどの複数のクライアントタイプ用に URI を作成する場合は、クライアントシステムの各タイプの『VMware View Client の使用』を参照してください。

操作

表 1-2. アクション クエリで使用できる値

値	説明
参照	指定したサーバにホストされている使用可能なデスクトップのリストを表示します。このアクションを使用している場合、デスクトップを指定する必要はありません。 参照 アクションを使用し、デスクトップを指定する場合、デスクトップは使用できるデスクトップのリストで強調表示されます。
スタート セッション	指定したデスクトップを起動します。アクションクエリが提供されず、デスクトップ名が提供されなければ、 スタート セッション がデフォルトアクションとなります。
リセット	指定したデスクトップをシャットダウンして再起動します。保存されていないデータは失われます。View デスクトップのリセットは、物理 PC のリセット ボタンを押すのと同じです。
ログオフ	View デスクトップのゲスト OS からユーザーがログオフします。
ロールバック	Windows PC またはノートパソコンのローカル モードを使用するためにチェックアウト中に、指定したデスクトップに行った変更を取り消します。

domainName

View デスクトップに接続しているユーザーに関連づけられるドメイン。

tokenUserName

RSA または RADIUS ユーザー名を指定します。RSA または RADIUS ユーザー名が Active Directory ユーザー名と異なる場合に限りこのクエリを使用します。このクエリを指定せず、RSA または RADIUS 認証が必要である場合、Windows ユーザー名が使用されます。この構文は、**tokenUserName=<name>** です。

vmware-view URI の例

vmware-view URI スキームでハイパーテキストリンクまたはボタンを作成し、電子メールや Web ページにこれらのリンクを含めることができます。エンドユーザーがこれらのリンク先をクリックして、たとえば、指定する起動オプションで特定の View デスクトップを起動できます。

URI 構文の例

各 URI 例は、URI リンクをクリック後にエンドユーザーに表示される説明に続きます。

1 **vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=start-session**

View Client が起動され、**view.mycompany.com** サーバに接続します。ログイン ボックスが表示され、ユーザーにユーザー名、ドメイン名、およびパスワード入力を求めます。ログインが成功すれば、クライアントは [プライマリ デスクトップ] と表示されるデスクトップに接続し、ユーザーはゲスト OS にログインされます。

注意 デフォルトの表示プロトコルおよびウィンドウ サイズが使用されます。デフォルトの表示プロトコルは PCoIP です。デフォルトのウィンドウ サイズはフル画面です。

2 **vmware-view://view.mycompany.com:7555/Primary%20Desktop**

この URI は、View View 接続サーバに 7555 の非デフォルト ポートを使用することを除いて以前の例と同じ効果を持ちます。(デフォルト ポートは 443 です。)デスクトップ ID が提供されているので、デスクトップは **start-session** アクションが URI に含まれていなくとも起動されます。

3 **vmware-view://fred@view.mycompany.com/Finance%20Desktop?desktopProtocol=PcoIP**

View Client が起動され、**view.mycompany.com** サーバに接続します。ログイン ボックスで、[ユーザー名] テキスト ボックスが [fred] という名前で設定されます。ユーザーはドメイン名とパスワードを入力する必要があります。ログインが成功すれば、クライアントは [ファイナンス デスクトップ] と表示されるデスクトップに接続し、ユーザーはゲスト OS にログインされます。この接続では PCoIP 表示プロトコルが使用されます。

4 `vmware-view://fred@view.mycompany.com/Finance%20Desktop?domainName=mycompany`

View Client が起動され、**view.mycompany.com** サーバに接続します。ログイン ボックスで、[ユーザー名] テキスト ボックスが [fred] という名前で設定され、[ドメイン] テキスト ボックスは [mycompany] で設定されます。ユーザーはパスワードだけ入力する必要があります。ログインが成功すれば、クライアントは [ファイナンス デスクトップ] と表示されるデスクトップに接続し、ユーザーはゲスト OS にログインされます。

5 `vmware-view://view.mycompany.com/`

View Client が起動され、ユーザーは **view.mycompany.com** サーバに接続するためのログイン入力が求められます。

6 `vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=reset`

View Client が起動され、**view.mycompany.com** サーバに接続します。ログイン ボックスが表示され、ユーザーにユーザー名、ドメイン名、およびパスワード入力を求めます。ログインが成功すれば、View Client はダイアログ ボックスを表示して、プライマリ デスクトップのリセット操作の確認をユーザーに求めます。リセットが行われると、View Client のタイプに基づいて、ユーザーにリセットが成功したかどうかを示すメッセージが表示されます。

注意 このアクションは、View 管理者がエンド ユーザーにこの機能を有効にしている場合に限って使用されます。

7 `vmware-view://`

View Client がすでに実行中である場合、View Client アプリが前面にきます。View Client が未だ実行されていない場合、ユーザーがデバイスで View Client を使用したことがあるかどうか、そして View Client が以前にサーバまたは View デスクトップに接続したことがあるかによって、View Client が起動され、最近使用したデスクトップのリストがユーザーに表示されます。

HTML コードの例

URI を使用して、ハイパーテキスト リンクおよびボタンを電子メールまたは Web ページに組み込むことができます。以下の例は、最初の URI の例から URI を使用して [Test Link] というハイパー リンクおよび [TestButton] というボタンをコーディングする方法です。

```
<html>
<body>

<a href="vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=start-session">Text Link</a><br>

<form><input type="button" value="TestButton" onClick="window.location.href='vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=start-session'"></form>
<br>

</body>
</html>
```

サーバ接続とデスクトップの管理

View Client を使用して View 接続サーバまたはセキュリティ サーバに接続し、接続サーバーのリストを編集し、View デスクトップにログインするか View デスクトップからログオフします。トラブルシューティングする場合にも、割り当てられている View デスクトップをリセットし、チェックアウトしたデスクトップをロールバックできます。

管理者による View デスクトップのポリシーの構成方法によっては、エンド ユーザーはデスクトップで多くの操作を実行できるようになります。

- [初回の View デスクトップへのログイン \(P. 14\)](#)
エンドユーザーが仮想デスクトップにアクセスする前に、クライアント デバイスから仮想デスクトップにログインできることをテストします。ログインするには、View 接続サーバ用の URL を指定し、ユーザー アカウント情報を入力する必要があります。
- [View Client の証明書チェック モード \(P. 15\)](#)
管理者は、またときにはエンドユーザーは、サーバの証明書チェックが失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。
- [サーバの保存リストの管理 \(P. 16\)](#)
View 接続サーバインスタンスに接続すると、View Client のホーム画面上のリストにサーバ名が保存されます。[サーバ] ボタンを使って、リストを編集します。
- [View デスクトップからの切断 \(P. 17\)](#)
ログオフせずに View デスクトップから切断し、アプリケーションを View デスクトップで開いたままにできます。
- [デスクトップからのログオフ \(P. 17\)](#)
View デスクトップに接続していない場合、最初にログインしなくてもログオフできます。
- [デスクトップのロールバック \(P. 18\)](#)
ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。
- [最近利用したデスクトップからのショートカットの削除 \(P. 19\)](#)
View デスクトップにログインすると、最近利用したデスクトップのショートカットが View Client ホーム画面に保存されます。コンテキストメニューを使用してショートカットを削除します。

初回の View デスクトップへのログイン

エンドユーザーが仮想デスクトップにアクセスする前に、クライアント デバイスから仮想デスクトップにログインできることをテストします。ログインするには、View 接続サーバ用の URL を指定し、ユーザー アカウント情報を入力する必要があります。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- ログイン用のドメイン名を取得します。
- 管理タスクの実行については以下で説明しています。 [\[View Client 向けの View 接続サーバの準備 \(P. 7\)\]](#)。
- 社内ネットワークの外部から接続し、仮想デスクトップへのアクセスにセキュリティ サーバを使用していない場合、使用しているクライアント デバイスが VPN 接続を使用していることを確認し、この接続をオンにします。

重要 VMware では、VPN よりもセキュリティ サーバの使用を推奨しています。

デバイスで使用できる社内無線ネットワークが設置されている場合、VMware View セキュリティ サーバまたは VPN 接続を設定する必要はありません。

- 仮想デスクトップへのアクセスを提供する サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を用意していることを確認してください。ポート番号が 443 ではない場合は、ポート番号も必要です。
- 組み込み RSA SecurID ソフトウェア利用の計画がある場合は、正しい CT-KIP URL とアクティベーション コードを所持していることを確認してください。 [\[組み込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用 \(P. 7\)\]](#) を参照してください。
- View 接続サーバから提示される SSL 証明書について、証明書確認モードを構成します。 [\[View Client の証明書チェック モード \(P. 15\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 ホーム画面上で、[VMware View] アプリケーションアイコンをタップします。
- 2 [サーバの追加] ボタンをタップして、View 接続サーバまたはセキュリティサーバの名前を入力し、[接続] をタップします。

View Client と View 接続サーバとの接続には常に SSL が使用されます。SSL 接続のデフォルトポートは 443 です。View 接続サーバはデフォルトポートを使用するように構成されていない場合、以下の例にあるフォーマットを使用します。**view.company.com:1443**。

- 3 RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求めるダイアログが表示されたら、認証情報を入力するか、組み込み RSA SecurID トークンを使用する予定の場合は、組み込みトークンをインストールします。

オプション	操作
既存のトークン	スマートフォンでハードウェア認証トークンまたはソフトウェア認証トークンを使用している場合、ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードには、PIN とトークンで生成された番号が含まれる場合があります。
ソフトウェア トークンのインストール	[外部トークン] をクリックします。[ソフトウェア トークンのインストール] ダイアログボックスに管理者から電子メールで送信された CT-KIP URL または CTFString URL をペーストしてください。URL にアクティベーションコードが含まれている場合、[パスワードとアクティベーションコード] テキストボックスには何も入力する必要がありません。

- 4 再度、RSA SecurID 認証情報または RADIUS 認証情報を入力するダイアログが表示されたら、トークンで次に生成された番号を入力します。

PIN および、過去に生成され、入力したものと同一番号は入力しないでください。必要に応じて、新しい番号が生成されるのを待ちます。

この手順は、最初のパスワードの入力をミスした、または RSA サーバの構成設定が変更された時のみ、必要になります。

- 5 プロンプトされたら、Active Directory の認証情報を入力します。
 - a 少なくとも 1 つのデスクトップ プールを使用する資格を付与されたユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。
 - b ドメインを選択します。
 - c (オプション) 管理者がこの機能を有効にしており、そしてサーバ証明書が十分に検証できる場合は、[パスワードの保存] チェックボックスを選択します。
 - d [完了] をタップします。
- 6 表示される View デスクトップリストで、接続するデスクトップをタップします。

デスクトップに初回にログインすると、View Client のホーム画面にデスクトップ用のショートカットが保存されます。次回、View デスクトップに接続する時は、サーバのホスト名を入力するかわりにショートカットをタップします。

View Client の証明書チェック モード

管理者は、またときにはエンド ユーザーは、サーバの証明書チェックが失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。

証明書確認は、View 接続サーバと View Client 間の SSL 接続に対して実行されます。証明書検査では、次のような検査が行われます。

- 証明書の目的は、送信側の ID 検証やサーバ通信の暗号化以外にあるか。つまり、証明書のタイプは正しいか。
- 証明書は期限切れになっているか、また有効なのは未来のみか。つまり、証明書はコンピュータの時刻に応じて有効になっているか。

- 証明書上の共通名は、それを送信するサーバのホスト名と一致しているか。ロード バランサが View Client をあるサーバにリダイレクトする際に、証明書が View Client に入力したホスト名と一致しない場合、不一致が発生する可能性があります。クライアントにホスト名ではなく IP アドレスを入力した場合でも、不一致の原因となる可能性があります。
- 不明なまたは信頼されていない証明機関 (CA) によって署名された証明書か。自己署名された証明書は、信頼されていない CA の証明書タイプの 1 つです。

チェックをパスするには、証明書のトラスト チェーンが、デバイスのローカル証明書ストアでルートになっている必要があります。

重要 ユーザーが iOS デバイスにインストールできる自己署名付ルート証明書を配布する手順については、Apple の Web サイトの手順を参照してください。たとえば、iPad については、http://www.apple.com/ipad/business/docs/iPad_Certificates.pdf を参照してください。

証明書確認モードを設定することができます。iPad [設定] アプリに移動し、[VMware View] をタップし、[証明書確認モード] をタップします。選択肢は次の 3 つです。

- [信頼が確認されていないサーバには絶対に接続しない]。証明書の確認に失敗した場合、クライアントはサーバに接続できなくなります。失敗したチェックは、エラー メッセージに一覧表示されます。
- [信頼されていないサーバに接続する前に警告する]。サーバが自己署名証明書を使用していることが原因で、証明書の確認に失敗した場合、[続行] をクリックして警告を無視することができます。自己署名証明書の場合、証明書名は View Client に入力した View 接続サーバ名と一致する必要はありません。
- [サーバ ID 証明書を検証しない]。この設定は、証明書チェックは View によって一切実行されないことを意味します。

証明書確認モードが [警告] に設定されている場合でも、自己署名証明書を使用する View 接続サーバインスタンスに接続することができます。

後で管理者が信頼される証明機関からのセキュリティ証明書をインストールし、接続時のすべての証明書チェックにパスするようになると、この信頼された接続はその特定のサーバに対して記録されます。その後、このサーバが自己署名証明書を再び提示すると、接続は失敗します。特定のサーバが完全に検証可能な証明書を提示した後は、必ずその処理が行われます。

サーバの保存リストの管理

View 接続サーバインスタンスに接続すると、View Client のホーム画面上のリストにサーバ名が保存されます。[サーバ] ボタンを使って、リストを編集します。

View Client で、サーバ名を入力して、[接続] をタップすると、入力したサーバ名または IP アドレスがリストに保存されます。サーバ名を間違えたり、間違っ た IP アドレスを入力した場合でも、この情報は保存されます。この場合、リストを編集してサーバ名を簡単に削除することができます。

重要 サーバに接続するには、サーバ名の隣の矢印を使用します。

手順

- 1 View Client で、画面左上の [サーバ] をタップします。

- 2 表示されるダイアログボックスで、右上の [編集] をタップし、必要な変更を加えます。

オプション	説明
サーバの名前を変更するには	表示されている名前をタップします。 テキスト内にカーソルが表示され、編集可能になります。
リストからサーバを削除するには	サーバ名またはアドレスの横にある赤いマイナス記号のアイコンをタップして、[削除] をタップします。 以前にパスワードを保存していた場合、[パスワードを削除] を選択することもできます。 このサーバに関連付けられている [最近使用したデスクトップ] ショートカットも削除されます。
リスト内のサーバの順序を変更するには	サーバ名の右側のアイコンをタップしたままにして、行が移動するときに、リスト内の任意の位置に名前をドラッグします。

- 3 [完了] をタップします。

View デスクトップからの切断

ログオフせずに View デスクトップから切断し、アプリケーションを View デスクトップで開いたままにできます。

View デスクトップオペレーティングシステムにログインするときに、View Client のツールバーにある [切断] ボタンをタップして、切断できます。

注意 View 管理者は、切断された時点で自動的にログオフするようにデスクトップを設定できます。その場合、デスクトップで開いているプログラムは停止します。

デスクトップからのログオフ

View デスクトップに接続していない場合、最初にログインしなくてもログオフできます。

View デスクトップに現在接続しログインしている場合は、Windows の [スタート] メニューを使用してログオフします。Windows からログオフした後は、デスクトップは切断され、View Client は閉じます。

ログオフせずに View デスクトップから切断すると、アプリケーションは View デスクトップで開いたままになります。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- デスクトップでファイルを開いている場合は、それらを保存して閉じます。
- [最近使用したデスクトップ] ショートカットを使用してデスクトップからログオフするには、デバイスから少なくとも 1 回は View デスクトップにログインしている必要があります。

少なくとも 1 回ログインしていない場合は、次の手順を理解してください [「初回の View デスクトップへのログイン \(P. 14\)」](#)。

手順

- 1 View Client ホーム画面上で、View デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

コンテキスト メニューは、View 管理者が許可した場合に限り使用できます。メニュー項目は、デスクトップのステータスがそのような動作を実行できる場合に限り使用できます。

オプション	操作
【最近使用したデスクトップ】ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	<ol style="list-style-type: none"> a 左上にある【サーバ】 ボタンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。 b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 c デスクトップ名の横にある矢印 (>) をタップします。

- 2 コンテキスト メニューから [ログオフ] を選択します。
- 3 【最近使用したデスクトップ】 エリアからデスクトップにアクセスした場合、入力を求めるダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

デスクトップのロールバック

ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。

View 管理者がこの機能を利用でき、デスクトップがチェックアウトされている場合のみ、View デスクトップをロールバックできます。



注意 ローカル モードのデスクトップが変更され、ロールバック前に変更が View server にレプリケートされない場合は、変更は失われます。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- データまたはファイルを保存するために、デスクトップをサーバにバックアップします。

View 管理者を使ってデータをサーバにレプリケートするか、ポリシーが許可する設定の場合、デスクトップが現在チェックアウトされている Windows クライアントのローカル モードで View Client を使用できます。

- 【最近使用したデスクトップ】ショートカットを使用してデスクトップをロールバックするには、デバイスから少なくとも 1 回は View デスクトップにログインしている必要があります。

少なくとも 1 回ログインしていない場合は、次の手順を理解してください [「初回の View デスクトップへのログイン \(P. 14\)」](#)。

手順

- 1 View Client ホーム画面上で、View デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

コンテキスト メニューは、View 管理者が許可した場合に限り使用できます。メニュー項目は、デスクトップのステータスがそのような動作を実行できる場合に限り使用できます。

オプション	操作
[最近使用したデスクトップ] ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	<ol style="list-style-type: none"> a 左上にある [サーバ] ボタンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。 b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスワード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 c デスクトップ名の横にある矢印 (>) をタップします。

- 2 コンテキスト メニューから [[ロールバック]] を選択します。
- 3 [最近使用したデスクトップ] エリアからデスクトップにアクセスした場合、入力を求めるダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスワード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

View デスクトップをロールバックした後、デバイスからログインすることができます。

最近利用したデスクトップからのショートカットの削除

View デスクトップにログインすると、最近使用したデスクトップのショートカットが View Client ホーム画面に保存されます。コンテキスト メニューを使用してショートカットを削除します。

手順

- 1 View Client ホーム画面の [[最近使用したデスクトップ]] エリア内で、View デスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
- 2 コンテキスト メニューから [[ショートカットの削除]] を選択します。

モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用

モバイル デバイスでは、ナビゲーションを援助するための機能が View Client に追加されています。

- [機能サポート一覧](#) (P. 20)

機能によっては、View Client のあるタイプではサポートされていても別のタイプではサポートされないものがあります。たとえば、ローカル モードは、Windows 版 View Client だけでサポートされます。

- [外部キーボードおよび入力デバイス](#) (P. 20)

View Client は iPad Keyboard Dock および Apple Wireless Keyboard (Bluetooth 搭載) をサポートします。

- [動作およびナビゲーションのヘルプ](#) (P. 21)

VMware は、Windows 以外のデバイス上で、従来の Windows ユーザー インターフェイス要素をナビゲートするためのユーザーとの対話補助を開発しました。

- [マルチタスク](#) (P. 23)

View Client 1.2 以降では、View デスクトップと他のアプリケーションをデスクトップ接続を切断せずに切り替えることができます。

- [マウスポタンの反転機能を利用する View Client の設定](#) (P. 24)

マウスの主ボタンと副ボタンを View デスクトップで切り替えられる場合、View Client 1.2 以降で使用できる [左ききモード] オプションを使用できます。

- [画面解像度と外部ディスプレイの使用 \(P. 24\)](#)

デバイスを外部ディスプレイまたはプロジェクタに接続する場合、View Client は一定の最大画面解像度に対応しています。また、デバイスで使用する画面解像度を変更すれば、より大きな画面解像度のスクロールも可能になります。

- [PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシュ \(P. 25\)](#)

PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシングでは、再送信を回避するためにイメージコンテンツをクライアントに保存します。この機能は帯域幅の使用を減らします。

- [国際化 \(P. 25\)](#)

View Client 1.2 以降では、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語でのユーザー インターフェイスとドキュメントが利用可能です。これらの言語の文字入力もできます。

機能サポート一覧

機能によっては、View Client のあるタイプではサポートされていても別のタイプではサポートされないものがあります。たとえば、ローカル モードは、Windows 版 View Client だけでサポートされます。

表 1-3. iOS View Client 用 Windows デスクトップでサポートされる機能

機能	Windows 7 の View デスク トップ	Windows Vista の View デス クトップ	Windows XP の View デスク トップ
RSA SecurID または RADIUS	○	○	○
シングル サインオン	○	○	○
RDP 表示プロトコル			
PCoIP 表示プロトコル	○	○	○
USB アクセス			
Wyse MMR			
仮想印刷			
ロケーション ベースの印刷	○	○	○
スマート カード			
複数のモニタ			
ローカル モード			

上記の機能の詳細および制限事項については、『VMware View アーキテクチャ プランニング ガイド』を参照してください。

注意 iOS 独自の機能は、左ききモード機能です。この機能は、View Client 1.2 で導入されています。マウスの主ボタンと副ボタンを切り替えられるように View デスクトップを構成した場合、左ききモード機能を使用できます。「[マウスボタンの反転機能を利用する View Client の設定 \(P. 24\)](#)」を参照してください。

外部キーボードおよび入力デバイス

View Client は iPad Keyboard Dock および Apple Wireless Keyboard (Bluetooth 搭載) をサポートします。

iPad Keyboard Dock 外部キーボードは、View Client によって自動的に検出されます。Apple Wireless Keyboard (Bluetooth 搭載) を View デスクトップで使用するには、最初にこのデバイスを iOS デバイスとペアにする必要があります。

キーボードを iPad とペアにした後、iPad による Bluetooth キーボードの検出を試行したときにオンスクリーン キーボードが分割キーボード モードにないことを確認してください。クライアント デバイスにワイヤレス キーボードを検出させるには、3 本指で画面を同時にタップするか、View Client インターフェイス ツールの [キーボード] ボタンをタップします。

また、Apple Wireless Keyboard (Bluetooth 搭載) で、外部キーボードが検出された後は、View Client インターフェイス ツールまたは 3 指タップを使用してもオンスクリーン キーボードを表示できません。最初に Eject キーを押して外部キーボードを無効にする必要があります。

View Client 1.6 以前の既知の制限

バージョン 1.7 以前の View Client の場合、外部キーボードのキーの中には、View デスクトップで動作しないものがあります。Function キー (F1 ~ F12 キーなど)、Ctrl、Alt、および Command です。

対処法：オンスクリーン Ctrl および Function キーを使用します。Ctrl+Alt+Delete などこれらのキーの組合せをタップするには、最初にオンスクリーンの Ctrl キーをタップします。Ctrl キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Alt キーをタップします。その後、また青に変わったら、Delete キーを押します。

国際化キーボード

View Client 1.0 では、英語キーボードのみがサポートされます。

View Client 1.2 以降では、以下の言語の文字入力ができます。英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語。

動作およびナビゲーションのヘルプ

VMware は、Windows 以外のデバイス上で、従来の Windows ユーザー インターフェイス要素をナビゲートするためのユーザーとの対話補助を開発しました。

View Client ツール

View Client インターフェイス ツールには、オンスクリーン キーボード、仮想タッチパッド、設定オプション、そして仮想キーパッド (矢印キー、Page Up キー、Page Down キー) をタップして表示させるボタンがあります。

View Client 1.7 以降、および iPhone 上で使用する View Client 1.6 以降では、View デスクトップにログインしたとき画面の中央に球形が表示されます。タップすると球形を拡大され、各ツールのアイコンが表示されます。このアイコンはタップで選択することができます。アイコンを球形の中に戻すには、アイコンの外側をタップします。

View Client の以前のバージョンの場合は、View デスクトップを開くとき、画面の中央上に View Client ツールバー用の小さいタブが表示されます。ツールバーを表示するには、タブをタップします。

オンスクリーン キーボード

View デスクトップ内のオンスクリーン キーボードには、標準オンスクリーン キーボードよりも多くのキーがあります。例えば、Control キーや Function キーが利用可能です。オンスクリーン キーボードを表示するには、[View Client] ツールバー上の [キーボード] ボタンをタップするか、または画面を同時に 3 本の指でタップします。

重要 また、View 5.1 デスクトップで View Client 1.5 以降を使用する場合は、メモ帳や新しい連絡先などでテキスト フィールドをタップするだけですぐにオンスクリーン キーボードを表示できる機能を利用することができます。テキスト フィールドでない領域をタップすると、キーボードが消えます。

重要 3 指タップを使用するには、ズーム用 iOS ユーザー補助機能がオフになっていることを確認します。ズーム アクセス機能がオンになっている場合、3 指タップのダブル タッピングでズームしてしまい、1 回だけタップしたことになり、何も動作しません。

外部キーボードを使用している場合、1 行オンスクリーン キーボードが表示されることがあります。このキーボードには Function キー、Ctrl キー、Alt キー、Windows キー、および矢印キーが含まれます。外部キーボードによっては、これらのすべてのキーが揃っていない場合があります。

文字列の送信

オンスクリーン キーボードで、Ctrl キー左横のペン アイコンをタップして、ローカル入力バーを表示させます。テキストボックスに入力した文字列は、[送信] をタップするまでアプリケーションに送信されません。例えば、Notepad などのアプリケーションを開き、ペン アイコンをタップした場合、入力した文字列は [送信] をタップするまで Notepad アプリケーション内に表示されません。

ネットワーク接続が低速の場合、この機能を使用します。つまり、この機能を使用すると、文字を入力しても、アプリケーション内に直ちに表示されません。この機能を使って、最大 1,000 文字を入力し、[送信] または [戻る] をタップして、アプリケーション内に 1,000 文字すべてを同時に表示させることができます。

バージョン 1.4 以前の View Client を使用している場合、マルチステージ IME サポートが必要な韓国語などの言語を入力するには、この機能を使用します。バージョン 1.5 以降の View Client では、韓国語の入力にはこの機能を使用する必要はありません。

ナビゲーション キー

View Client インターフェイス ツールまたはオンスクリーン キーボード上の [Ctrl/Page] アイコンをタップして、ナビゲーション キーを表示させます。これらのキーには、Page Up キー、Page Down キー、矢印キー、Function キーおよび Windows 環境でよく使用する Alt キー、Del キー、Shift キー、Ctrl キー、Windows キー、Esc キーを含んでいます。矢印キーを押し続け、連続して動かすことができます。

Ctrl+Shift など Shift キーを含むキーの組合せを使用する必要がある場合、このキーボードの Shift キーを使用します。Ctrl+Alt+Delete などこれらのキーの組合せをタップするには、最初にオンスクリーンの Ctrl キーをタップします。Ctrl キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Alt キーをタップします。Alt キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Del キーをタップします。

オンスクリーン タッチパッドとフルスクリーン タッチパッド

仮想タッチパッドは、ラップトップコンピュータのタッチパッドを模した通常サイズ、またはデバイスの画面全体がタッチパッドとなるフルスクリーンの、いずれかを選択できます。

View Client 1.7 以降のバージョンでは、デフォルトの動作として、タッチパッドのアイコンまたはボタンをタップすると、画面上の任意の場所をタッチすることでマウス ポインターを移動できます。画面はフルスクリーン タッチパッドになります。仮想タッチパッドが左/右クリック ボタンを備えたラップトップのタッチパッドのようになるようデフォルトの設定を変更するには、View Client インターフェイス ツールを使用して全般設定またはオプションを表示し、[フルスクリーン タッチパッド] コントロールをオフに切り替えます。

- タッチパッドの周りで指を動かして、マウスポインタを作成し、View デスクトップの周りを移動させます。
- 通常サイズおよびフルスクリーンの仮想タッチパッドでは、シングルクリックにもダブルクリックにも使用できます。
- 通常サイズのタッチパッドには、左クリックボタンと右クリックボタンもあります。
- View Client 1.2 またはそれ以降を使用している場合、2本の指で左クリック ボタンをホールドし、もう1本の指でドラッグして、ダブルタップし、ドラッグすることができます。

この機能を有効にするには、View Client ツールを使用して [オプション] ダイアログ ボックスを表示し、[タッチパッドのタップとドラッグ] オプションをクリックして [オン] に切り替えます。

- 2本の指でタップし、ドラッグして垂直方向にスクロールします。

通常サイズの仮想タッチパッドをデバイスの端にドラッグすれば、デバイスを手に持ちながら親指でタッチパッドの操作を行うことができます。

タッチパッドの使用時にポインタの移動速度を調整するには、View Client インターフェイス ツールを使用して、[オプション] ダイアログ ボックスを表示させ、[タッチパッド感度] オプション内のスライダをドラッグします。

クリック

他のアプリケーションと同様に、ユーザー インターフェイスのエLEMENTにタップしてクリックします。

View デスクトップ内で、1 秒間タップ・ホールドすると、マウス ポインターを伴った虫眼鏡が、精密な位置決め用に表示されます。この機能は画面のリサイズをするときに特に役立ちます。

注意 View デスクトップを左ききのユーザー用に構成する場合は、「[マウスボタンの反転機能を利用する View Client の設定 \(P. 24\)](#)」を参照してください。

右クリック

次のオプションが右クリック用に利用可能です。

- View Client インターフェイス ツールを使用して通常サイズの仮想タッチパッドを表示し、タッチパッドの右クリック ボタンを使用します。
- 2 本の指でほぼ同時にタップします。右クリックが最初の指のタップで発生します。

スクロールおよびスクロールバー

垂直方向のスクロールにはいくつかのオプションが利用可能です。

- 画面上で、2 本指でタップし、ドラッグしてスクロールさせます。指の下のテキストが指の動きを同じ方向に移動します。
- View Client インターフェイス ツールを使用してタッチパッドを表示し、次にタッチパッドを 2 本指でタップして、ドラッグでスクロールします。
- オンスクリーンタッチパッドを使用して、マウス ポインターを移動させ、スクロールバーをクリックします。

ズームインおよびズームアウト

他のアプリケーションと同様に、指を合わせたり広げたりすることでズームを行います。

画面のリサイズ

フルスクリーンタッチパッドを使用してウィンドウのサイズを変更する場合は、ウィンドウのコーナーまたは左右の辺を 1 本の指でタッチしたままドラッグするか、1 本の指でダブルタップしてからドラッグします。

通常サイズの仮想タッチパッドを使用する場合、左クリック ボタンを押したままウィンドウのコーナーまたは左右の辺をドラッグするという動作をシミュレートするには、1 本の指でダブルタップしてからドラッグします。

どちらのタイプの仮想タッチパッドも使用していない場合は、ウィンドウのコーナーまたは左右の辺に虫眼鏡が表示されるまでタップしたままにします。リサイズ矢印が表示されるまで指を動かします。指を画面から離します。虫眼鏡がリサイズ円に置き換わります。このリサイズ円をタップして、リサイズする画面にドラッグします。

音声、音楽、そしてビデオ

デバイスで音声が入っている場合、View デスクトップでオーディオを再生することができます。

マルチタスク

View Client 1.2 以降では、View デスクトップと他のアプリケーションをデスクトップ接続を切断せずに切り替えることができます。

WiFi ネットワークでは、デフォルト View Client がバックグラウンドで最大 10 分間動作します。View Client のバージョンによって異なりますが、3G ネットワークでは、クライアントはデータ コストを節約するためにデータをサスペンドできます。

- View Client 1.6 以降では、他のアプリに切り替える時にデータ転送をサスペンドすることがあります。View Client に戻すとデータ転送は再開します。
- View Client 1.5 は、バックグラウンドで 10 分間動作します。
- View Client 1.4 以前では、バックグラウンドで 1 分間動作します。

iOS アプリケーションおよび View デスクトップ間または 2 つの View デスクトップ間でプレーン テキストをコピー & ペーストできます。フォーマット情報はコピーされません。

- デバイスが iOS 4.x 以降を使用している場合は、View デスクトップにログインすると、クリップボードにコピーしたテキストが自動的に View デスクトップのクリップボードにコピーされます。
- View デスクトップにログイン済の場合、View デスクトップのクリップボードにコピーしたテキストは、ホーム ボタンを押すか、または、バックグラウンドに切り替えたときに iPad のクリップボードにコピーされます。

マウスポタンの反転機能を利用する View Client の設定

マウスの主ボタンと副ボタンを View デスクトップで切り替えられる場合、View Client 1.2 以降で使用できる [左ききモード] オプションを使用できます。

View デスクトップ内でマウス プロパティを設定するとマウスの主ボタンが右になり、多くの左ききユーザは View Client で [左ききモード] オプションをオンにする必要があります。マウス ボタンを反転する時にこのオプションをオンにしなければ、シングル タップは、マウスの副ボタンのクリックと同じように動作します。たとえば、シングル タップは、何かを選択したりカーソルを挿入するのではなくコンテキスト メニューを表示します。

手順

- 1 View Client インターフェイス ツール オプションを表示します。

オプション	説明
View Client 1.7 以降	球形のアイコンをタップして拡大し、設定アイコンをタップします。
View Client 1.6 以前	View デスクトップの中央上のタブをタップして、[オプション] ボタンをタップします。

- 2 [左ききモード] をタップしてオプションをオンに切り替えます。
- 3 [オプション] ダイアログ ボックスの外をタップして閉じます。

シングル タップはマウスの主ボタンのクリックと同じように動作します。

画面解像度と外部ディスプレイの使用

デバイスを外部ディスプレイまたはプロジェクタに接続する場合、View Client は一定の最大画面解像度に対応しています。また、デバイスで使用する画面解像度を変更すれば、より大きな画面解像度のスクロールも可能になります。

View デスクトップの画面解像度の拡張

デフォルトでは、Windows デスクトップ全体がデバイス内に収まり、デスクトップ アイコンとタスク バー アイコンが一定のサイズになるように、ディスプレイの解像度が設定されています。ただし、デフォルトをより高い解像度に変更することができます。変更した場合、デスクトップはこれまでどおりデバイス内に収まりますが、デスクトップ アイコンとタスク バー アイコンはより小さくなります。指でつまむようにして広げることで、デスクトップを拡大してデバイスよりも大きくすることができます。タップしてドラッグすれば、デスクトップの端にアクセスすることができます。

ディスプレイの解像度設定の変更

[オプション] ダイアログ ボックスで [ディスプレイの解像度] 設定を使用すれば、ディスプレイの解像度をより大きな値に設定することができます。View Client インターフェイス ツールの球形をタップして拡大し、設定アイコンをタップします。

プロジェクタ使用時の画面解像度

プロジェクタにより高い解像度を設定するには、[ディスプレイの解像度] 設定を使用します。

プロジェクタまたは接続したモニタに View デスクトップを表示中にキーボードと拡張オンスクリーン タッチパッドをデバイスに表示するには、[オプション] ダイアログ ボックスで [プレゼンテーション モード] 設定を使用します。デバイスを外部モニタに接続しているときには、拡張タッチパッドとキーボードが表示されます。

PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシュ

PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシングでは、再送信を回避するためにイメージコンテンツをクライアントに保存します。この機能は帯域幅の使用を減らします。

重要 この機能は、View Agent および View 接続サーバが View 5.0 以降のバージョンである場合のみ使用可能です。

PCoIP イメージ キャッシュは、一時的なものと同様、空間的冗長性をキャプチャします。たとえば、PDF ドキュメントをスクロールダウンすると、ウィンドウの下部から新しいコンテンツが表示され、一番古いコンテンツはウィンドウのトップから表示されなくなります。他のコンテンツはすべて変わらず、上に移動します。PCoIP イメージ キャッシュは、この空間的で時間的な冗長性を検出できます。

スクロールの間、クライアント デバイスに送られたディスプレイ情報は、主として、かなりの大きさの帯域幅を保存するイメージキャッシュを使用しているキャッシュインデックスのシーケンスです。このように効率的なスクロールは、LAN 上、WAN を介する場合のいずれもメリットがあります。

- LAN 上では、帯域幅は比較的制約がありませんが、クライアントサイド イメージ キャッシングを使用しており、かなりの大きさの帯域幅を節約できます。
- WAN を介して、利用可能な帯域幅の制限内に抑えるには、クライアントサイドのキャッシングなしではスクロールのパフォーマンスが低下します。WAN 介して、クライアントサイドのキャッシングにより帯域幅が節約され、スムーズで高感度のスクロール体験が可能になります。

クライアントサイド キャッシングでは、クライアントは以前に転送した表示部分を保存します。キャッシュ サイズは、使用可能な RAM の半分です。RAM の総容量が 50MB を下回る場合、キャッシュ サイズは 50MB となります。

国際化

View Client 1.2 以降では、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語でのユーザー インターフェイスとドキュメントが利用可能です。これらの言語の文字入力もできます。

View Client のトラブルシューティング

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View アプリケーションの再インストールで解決することができます。

問題

VMware View アプリが起動しない、繰り返し予期せず終了する、または、View デスクトップがフリーズします。

原因

VMware View サーバが適切に設定され、サーバの周りのファイアウォールが正しくポートを開いていると仮定した場合、他の問題は通常モバイル デバイス上の VMware View アプリまたは View デスクトップ上のゲスト オペレーティングシステムに関連します。

解決方法

- View デスクトップ内のオペレーティングシステムがフリーズした場合、デバイス上の View Client を使用してデスクトップをリセットします。
このオプションは、管理者がこの機能を有効にした場合にのみ利用可能です。
- デバイス上の VMware View アプリをアンインストールして、再インストールします。
- View デスクトップのリセットおよび VMware View アプリの再インストールで問題が解決しない場合、Apple のユーザガイド記載の方法で iOS デバイスをリセットします。
- サーバに接続する際、接続エラーが発生する場合は、プロキシ設定を変更する必要がある可能性があります。

デスクトップのリセット

リセット操作を実行すると、デスクトップがシャットダウンおよび再起動されます。保存されていないデータは失われます。

デスクトップ オペレーティング システムが応答しなくなった場合、デスクトップのリセットが必要な場合があります。

View デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するためにその PC のリセット ボタンを押す操作に相当します。View デスクトップで開いているすべてのファイルが、保存されずに閉じられることになります。

デスクトップをリセットできるのは、View 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスワードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- [最近使用したデスクトップ] ショートカットを使用してデスクトップをリセットするには、デバイスから少なくとも 1 回は View デスクトップにログインしている必要があります。

少なくとも 1 回ログインしていない場合は、次の手順を理解してください [\[初回の View デスクトップへのログイン \(P. 14\)\]](#)。

手順

- 1 View Client ホーム画面上で、View デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

コンテキスト メニューは、View 管理者が許可した場合に限り使用できます。メニュー項目は、デスクトップのステータスがそのような動作を実行できる場合に限り使用できます。

オプション	操作
[最近使用したデスクトップ] ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	a 左上にある [サーバ] ボタンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。 b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 c デスクトップ名の横にある矢印 (>) をタップします。

- 2 コンテキスト メニューから [[リセット]] を選択します。
- 3 [最近使用したデスクトップ] エリアからデスクトップにアクセスした場合、入力を求めるダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

VMware View アプリケーションのアンインストール

VMware View アプリケーションをアンインストールし、再インストールすることで、View Client の問題を解決できる場合があります。

手順

- 1 Mac または PC の iTunes に VMware View アプリが入っている場合、VMware View アプリの Apps Library を参照または検索して、それを追加または削除します。
iTunes アプリを削除するために使用した同じ手順を使用します。
- 2 デバイスをコンピュータに接続し、Mac または PC の iTunes でデバイスを同期できます。
- 3 VMware View アプリケーションがデバイスから削除されていない場合、[VMware View] アプリ アイコンが動くまでタッチしながらホールドし、[X] アイコンをタップしてアプリを削除します。

次に進む前に

View Client を再インストールします。

View グループ ポリシーの GPO を作成する方法の例については、「[iOS 版 View Client のインストール/アップグレード \(P.9\)](#)」。

プロキシ使用時の接続構築に関する問題

LAN のプロキシを使用して View 接続サーバに接続を試みて、エラーが発生することがあります。

問題

View デスクトップから View 接続サーバへのセキュアな接続を使用するために View 環境が設定されており、クライアント デバイスが HTTP プロキシを使用するように設定されている場合、接続できない可能性があります。

原因

Windows Internet Explorer と異なり、クライアント デバイスには、ローカル アドレスのプロキシをバイパスするためのインターネット オプションがありません。外部アドレスをブラウズするために HTTP プロキシを使用し、内部アドレスを使用して View 接続サーバに接続を試みると、**接続を確立できませんでした**というエラー メッセージが表示されます。

解決方法

- ◆ プロキシ設定を削除すると、デバイスはプロキシを使用しなくなります。

インデックス

記号

View 接続サーバ 7
クライアント デバイスの前提条件 7
セキュリティ サーバ、PCoIP セツゾク 14
desktop、ロールバック 18
デスクトップのロールバック 18

A

App Store 9

I

iOS、View Client のインストール 6
iOS View Client
アンインストール 26
インストール 9
iOS 版 View Client
アンインストール 26
インストール 9
iPad 用入力デバイス 20
iTunes ストア 26

M

Mac iOS、View Client のインストール 6

P

PCoIP クライアント イメージ キャッシュ 25

R

RSA SecurID トークン 7

U

URI (uniform resource identifiers) 10
URI の例 12

V

View Agent、インストール要件 8
View Client 用の URI 構文 11
View Client
iOS クライアントのセットアップ 6
iPad および iPhone のシステム要件 6
クライアント デバイスからログイン 14
デスクトップから切断 17
トラブルシューティング 25
View デスクトップ 19
View デスクトップからの切断 17

W

Windows デスクトップ 19

い

イメージ キャッシュ、クライアント 25

お

オプション、構成 21
オペレーティング システム、View Agent でサポート
されている 8

か

解像度、画面 24
外部ディスプレイ 24
カスタマー エクスペリエンス プログラム、デスクトッ
プ プール データ 9
画面解像度 24
ガメンノリサイズ 21

き

キー、ナビゲーション 21
keyboard
オンスクリーン 21
ナビゲーション キー 21
キーボードサポート 20
機能サポート一覧 20
キャッシング、クライアントサイド イメージ 25

く

クライアントイメージ キャッシュ 25

こ

国際化 25
コピーアンドペースト 23

さ

サーバ接続 13, 16
最近使用したデスクトップのショートカット 19

し

システム要件、iPad および iPhone 6
証明書、問題の無視 15
ショートカット、最近使用したデスクトップ 19

す

スクロール 21

せ

接続問題 27

切断 17

そ

ソフトウェア トークン 7

た

タッチパッド、カソウ 21

タブレットドウサ 21

つ

ツールバー、View Client 21

て

ディスプレイ、外部 24

ディスプレイ要件 24

デスクトップ、ログオフ 17

デスクトップ、リセット 26

デスクトップのリセット 26

と

トークン、RSA SecurID 7

トラブルシューティング 25

トラブルシューティング、接続問題 27

な

ナビゲーション キー 21

は

ハードウェア要件、iOS デバイス 6

バックグラウンドデノジッコウ 23

バックグラウンドマルチタスク 23

ひ

左ききモード 24

ふ

プロキシ接続 27

プロジェクタ 24

ま

マウス ボタン、反転機能 24

マウスボタンの反転機能 24

マルチタスク 23

ろ

ログイン

 サーバへ 14

 デスクトップ 14

ログオフ 17